

単元目標

- ・自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。
- ・自分や第三者について、できることやできないことなどを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、小文字を読むことに慣れ親しむ。
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。

単元評価規準

- ・自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとしている。
- ・自分や第三者について、できることやできないことなどを尋ねたり言ったりしている。また、小文字を読んでいる。
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付いている。

表現

Can you(sing well?) Yes, I can. /No, I can't. [I /You/He/She] [can/can't] (sing well).

単元計画（5時間）

時	目標と主な活動 【 】＝誌面化されている活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準＜方法＞
1	動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知る。 ○「先生のできること・できないことを知ろう。」 ○「ジェスチャーゲーム」 【L1】「どの動物のことか、男の子のことか聞こう。」 【L2】「どの動物のことか聞こう。」 【C】“Can you sing well?”			○	・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知ることができる。〈行動観察・振り返りカード分析〉
2	動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【C】“Can you sing well?” 【P2】「ポインティングゲーム」 ○「Who am I クイズ」 ○「○×クイズ」 【STORY TIME】 ○Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」		○		・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり、言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
		○			・小文字を読んでいる。〈行動観察・ワークシート〉
3	できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、自分ができることを考える。 【C】“Can you sing well?” 【A】「友だちのできること・できないことを予想して、インタビューしよう。」 ○「Who am I? クイズ」 ○「自分を紹介しよう。」 ○Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」		○		・できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
		○			・小文字を読んでいる。〈行動観察・ワークシート〉
4	自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとするとともに、他者ができることについて紹介する表現を知る。 【C】“He can run fast. She can sing well.” 【A】「友だちにインタビューをしてサインをもらおう。」 ○「Who is he? Who is she? クイズ」 【L3】「どの人物のことかな。」 ○ Sounds and Letters (Unit5-8)	○			・友達と積極的に交流しようとしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
			○		・他者ができることについて紹介する表現を聞いたり、言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
			○		・小文字を読んでいる。〈行動観察・ワークシート〉

5	<p>他者ができることについて紹介する表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】 “He can run fast. She can sing well.”</p> <p>【W T】 「できることやできないことを聞こう。」</p> <p>○ 「Who is he? Who is she? クイズ」</p> <p>【STORY TIME】</p> <p>○ Sounds and Letters (Unit5-9)</p>				<p>○</p> <p>○</p>	<p>・他者ができることについて紹介する表現を聞いたり，言ったりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>・小文字を読んでいる。 〈行動観察・ワークシート〉</p>
---	--	--	--	--	-------------------	---

1ー単元 11	She can run fast. He can jump high.	1/5 時間
目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知る。		
準 備 児童用テキスト, Small Talk 用絵カード (スポーツなど), ワークシート, デジタル教材, 振り返りカード		

児童の活動 【 】＝誌面化されている活動	指導者の活動	準備物
・ 挨拶をする。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○ 「先生のできること・できないことを知ろう。」 ・ 児童は指導者の質問に Yes. / No. で答える。	・ 指導者は教師用絵カードを見せながら、「できること」「できないこと」を紹介する。児童にも Can you ～? と尋ねる。 ・ 表情やジェスチャーをつけて言うことで、can と can' t の意味の違いに気付かせる。	教師用絵カード (スポーツなど)
○ 「ジェスチャーゲーム」 ・ 児童は何の動作かを言い当てる。 ・ 児童は指導者の質問に答える。	・ 指導者は p. 37 の誌面の絵にある動作のジェスチャーをして、何の動作か考えさせる。 ・ 指導者は何のジェスチャーか当てた児童に、その動作について Can you ～? と尋ねる。 ・ 慣れてきたら、代表児童を出題者にする。	児童用テキスト デジタル教材
○ 【Let' s Listen 1】 p. 36 「どの動物のことか、男の子のことか聞こう。」 ・ 音声を聞いてどの動物 (男児) なのかを考え、イラストの下に番号を記入する。	・ p. 34-35 のイラストでこの動物 (男児) がどこにいるか確認してから取り組むとよい。 ・ sing や swim などの単語が分からない場合は、指導者がジェスチャーなどでヒントを出すようにする。	児童用テキスト デジタル教材
○ 【Let' s Listen2】 p. 36 「どの動物のことか聞こう。」 ・ 音声を聞いてどの動物かを考え、イラストの下に番号を記入する。	・ p. 34-35 のイラストでこの動物 (男児) がどこにいるか確認してから取り組むとよい。 ・ 単語が分からない場合は、指導者がジェスチャーなどでヒントを出すようにする。	児童用テキスト デジタル教材
○ 【Let' s Chant】 p. 35 “Can you sing well?” ・ 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		児童用テキスト デジタル教材
・ 本時の活動をふり返る。振り返りシートに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・ 挨拶をする。	振り返りカード

評価

- ・ 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知ることができる。【気】
- 〈行動観察・振り返りカード分析〉

1ー単元 11	She can run fast. He can jump high.	2/5 時間
目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しみ、できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。		
準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード, ワークシート④, デジタル教材, 振り返りカード		

児童の活動	指導者の活動	準備物
【 】＝誌面化されている活動		
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○【Let's Chant】p.35 “Can you sing well?” ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		児童用テキスト デジタル教材
○【Let's Play 2】p.37 「ポインティングゲーム」	・指導者は誌面にある動作表現を言う。児童は絵をさし示して指導者のあとについて繰り返し言う。 ・ひととおり動作表現を確認したら、I can ～.と言ったらさし示すが、I can't ～.のときはさし示さないようにし、違いを意識させる。	児童用テキスト デジタル教材
○「Who am I クイズ」 ・児童はどれのことを当てる。	・指導者は【Let's Listen 1】、【Let's Listen 2】の人物や動物のうち、どれかになりきって、できることやできないことを紹介する。 ・2回ほど指導者が行い、あとはグループでクイズを作らせる。各グループに発表させ、みんなで答えを考えさせる。	児童用テキスト デジタル教材
○「○×クイズ」 ・児童は指導者に Can you ～?と尋ね、指導者が Yes, I can. / No, I can't. で答える。	・指導者は教師用絵カードを見せながら、できる(○)かできない(×)か予想させ、教室内の右(○)左(×)に分かれさせる。	教師用絵カード
○【STORY TIME】p.41 ・カズとマリアの絵本の読み聞かせを聞く。		児童用テキスト デジタル教材
○Sounds and Letters 「アルファベットの小文字を書こう。」 ・小文字の書き方を知り、形や高さに注意しながらワークシートに書く。	・前単元で使用したワークシートをもう一度活用するなど、児童の実態に合わせ小文字を書く活動を適時取り入れる。	ワークシート (ワークシート④)
・本時の活動をふり返る。振り返りシートに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価

- ・動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり、言ったりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・小文字を読んでいる。【慣】〈行動観察・ワークシート〉

1ー単元 11	She can run fast. He can jump high.	3/5 時間
目 標 できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、自分ができることを考える。		
準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード, ワークシート④, デジタル教材, 振り返りカード		

児童の活動 【 】＝誌面化されている活動	指導者の活動	準備物
・ 挨拶をする。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○【Let's Chant】p.35 “Can you sing well?” ・ 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		児童用テキスト デジタル教材
○【Activity 1】p.37 「友だちのできること・できないことを予想して、インタビューしよう。」 ・ ペアになり、誌面の11種類の動作について、相手ができるかどうかを予想して欄に○や△を書く。空欄には相手に尋ねてみたいことの絵を描き、予想を書く。 ・ 予想し終わったら、Can you ～?でインタビューし合う。	・ すべての動作について、No, I can't. と答えそうな児童をあらかじめ想定しておき、インタビューのときに声がけをして自信を持たせるようにする。	児童用テキスト デジタル教材
○「Who am I? クイズ」 ・ 児童は指導者に Can you ～?で尋ね、指導者はインタビュー結果をもとに答える。その答えからだれのことかを当てる。	・ 指導者は直前の活動 Activity 1 のインタビュー結果を使い、ある児童になりきり、できることやできないことを I can ～. / I can't ～. で紹介し、それがどの児童のことか推測させる。	
○「自分を紹介しよう。」 ・ 自分ができることを考え、その絵をワークシートに描く。 ・ 代表児童ができることを紹介する。	・ できることに自信を持ってない児童の支援をしながら、描いている絵が少ない児童を把握しておく。	ワークシート
○Sounds and Letters 「アルファベットの小文字を書こう。」 ・ 小文字の書き方を知り、形や高さに注意しながらワークシートに書く。	・ 前単元で使用したワークシートをもう一度活用するなど、児童の実態に合わせ小文字を書く活動を適時取り入れる。	ワークシート (ワークシート④)
・ 本時の活動をふり返る。振り返りシートに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・ 挨拶をする。	振り返りカード

評価

- ・ できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・ 小文字を読んでいる。【慣】〈行動観察・ワークシート〉

1ー単元 11	She can run fast. He can jump high.	4/5 時間
目 標 自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとするとともに、他者ができることについて紹介する表現を知る。		
準 備 児童用テキスト, 教師用絵カード, ワークシート (Unit5-8) , デジタル教材, 振り返りカード		

児童の活動	指導者の活動	準備物
【 】＝誌面化されている活動		
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○【Let' s Chant】 p. 35 “He can run fast. She can sing well.” ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		児童用テキスト デジタル教材
○【Activity 2】 p. 37 「友だちにインタビューをしてサインをもらおう。」 ・児童は誌面を持って教室内を歩きまわり、出会った友達に Can you ～? で尋ねる。できると答えた児童から誌面にサインをもらう。	・「Hi. / Thank you. / Bye」の表現も使わせるようにする。 ・活動後、インタビューしてみて意外だったことや気付いたことなどを発表させる。	児童用テキスト デジタル教材
○「Who is he? Who is she? クイズ」	・指導者は直前の活動 Activity 1 のインタビュー結果を使い、ある児童について、He[She] can ～. / He[She] can' t ～. で紹介し、それがどの児童のことか推測させる。 ・児童はここではじめて三人称の he / she に出会う。男女をバランスよく取り上げることで、he と she の使い方に慣れさせるとよい。	
○【Let' s Listen 3】 p. 40 「どの人物のことかな。」 ・音声を聞いてどの人物か考え、イラストの下の () に番号を記入する	・分からない児童がいる場合は、何度も繰り返し聞くようにする。	児童用テキスト デジタル教材
○Sounds and Letters ・ワークシートの中に隠れている生き物の単語をさがす。	・ワークシートの中に隠れている生き物の単語をさがさせ、今までに学習した小文字に慣れ親しませる。	ワークシート (Unit5-8)
・本時の活動をふり返る。振り返りシートに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価

- ・友達と積極的に交流しようとしている。【コ】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・他者ができることについて紹介する表現を聞いたり、言ったりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・小文字を読んでいる。【慣】〈行動観察・ワークシート〉

1ー単元 11	She can run fast. He can jump high.	5/5 時間
目 標	他者ができることについて紹介する表現に慣れ親しむ。	
準 備	児童用テキスト, 教師用絵カード, ワークシート (Unit5-9) , デジタル教材, 振り返りカード	

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。	
○【Let' s Chant】 p. 35 “He can run fast. She can sing well.” ・音声を聞き，絵カードを見ながら言う		児童用テキスト デジタル教材
○【Let' s Watch and Think 2】 p. 38 「できることやできないことを聞く。」 ・デジタル教材で2人の子供ができることやできないことを尋ねたり答えたりするのを視聴し，具体的な情報を聞き取る。できることに○，できないことに△をつける。 ・2人の会話を聞いていたさとしがその情報をまとめながら He / She を使って紹介するのを視聴し，分かったことを誌面に記入する。	・児童の実態に合わせて，デジタル教材を視聴する前に誌面の絵を見ながら予想を立てるとともに，語句の確認をするとよい。 ・2人のやり取りが長いので，1回目は全体を視聴し，2回目以降は途中で止めて答えを確認するなど，児童の実態に合わせて取り組むとよい。 ・児童は，視聴して，前の活動の自分の答えが合っているかを確認する。 ・内容が分かるように，必要に応じて何度か書かせるようにする。	児童用テキスト デジタル教材
○「Who is he? Who is she? クイズ」	・指導者はあらかじめ学校の他の先生にできること／できないことを尋ねておき，ある先生について，He[She] can ～. / He[She] can' t ～. で紹介し，それがどの先生のことか推測させる。	
○【STORY TIME】 p. 41 ・カズとマリアの絵本の読み聞かせを聞く。		児童用テキスト デジタル教材
○Sounds and Letters ・単語を聞いて，最初の音のアルファベットの小文字を書く。	・単語を聞かせ，最初の音のアルファベットの小文字を書かせる。	ワークシート (Unit5-9)
・本時の活動をふり返る。振り返りシートに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価

- ・他者ができることについて紹介する表現を聞いたり，言ったりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉
- ・小文字を読んでいる。【慣】〈行動観察・ワークシート〉